

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 36	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 各種花きに対する照明の違いによる電照の効果の確認	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年補光や開花制御に使われる照明器具はLEDが中心となっている。かつては白熱灯を主要な電源としていたが、光質の異なる蛍光灯やLEDが主力となってきており、微妙に効果が異なるのではないかとということが危惧されている。 そこで、主要な花きについて異なる光質の光源を使用した場合の効果（開花促進、抑制など）及び品質の違いについて調査を行うとともに、異なる場合はそれぞれの光源で適した照明条件の開発を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター   ②畜産技術センター   ③水産技術センター   ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施   ②実施中   ③継続検討   ④実施済   ⑤調査指導対応   ⑥現地対応   ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2-(4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 ク 環境制御技術開発に向けた特産花き栽培の見える化および技術の平準化			
対応の内容等 本県の主要花き品目であるスイートピーで、低日照時のLED処理により小花数安定が安定し、落蕾抑制に効果があること（神奈川農技研報163号）、生育初期からの長日処理による着蕾安定および生育中期からの長日処理による落蕾後の樹勢回復効果（岡山県、平成27年度試験成績）などの報告があります。現在、県内のスイートピー生産者圃場でLED処理の実証が行われており、当課ではさらに有効なLEDの活用方法の検討を行っています。 主要な花き品目に対する光質や光量の違いによる生育・品質等への影響は、市販されているLED灯具や他県での試験状況などを踏まえて調査し、有効な利用方法等について課題化を検討していきます。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			